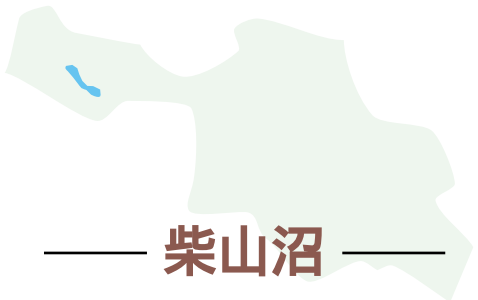


写真でよみがえる50年 vol. 3



投網での漁（昭和43年）



大山中学校卒業式の後、舟上で記念撮影

町の西部に位置する柴山沼は豊かな自然を代表するもののひとつで、面積は12.5㌖あります。かつては、のどかで人々の生活と密着した沼でしたが、今では釣り人や自然を楽しむ人々の憩いの場となっています。

写真の投網は昭和43年の様子です。この写真のように昭和40年代までは、毎年秋にヌマアケ（沼開け）といって、柴山・荒井新田地区の人々などが数十艘もの舟を出して漁をし、親せきの人などを呼んでごちそうしたものです。

今では、平成4年度から始まった県営水環境保全事業（ピオトープ：生態系の保全・復元）により、水辺として親しみやすい沼となり、年間を通じ多くのかたが訪れています。

表紙の写真は、若山皖江さん（柴山）からお借りしたものです。

ふるさと
白岡紀行

「今日は待ちに待った、お誕生日給食です。最初に、音楽委員会からのプレゼントがありました。『ハッピーバースデー』の曲をハンドベルで演奏してくれました。5月生まれの友だちと食べる給食は、一年ぶりの緊張したけれど、おいしかったです。」

4年 美生



お誕生日給食「5月生まれ」

わが校自慢

南小学校



総合的な学習の時間（ふれあいタイム）「わら縄づくり」

本校の自慢の一つでもあるおいしい給食。その時間をさらに楽しく、そしていろいろな友だちとの交流を図るために、毎月一回、お誕生日給食を実施しています。給食委員会からの招待状が届くと、子どもたちは嬉しそうに日にちやテーブルを見せ合っています。

また、本校がたいせつにしている取り組みの一つが、地域のかたがたとの交流です。クラブ活動では「郷土文化クラブ」と「ゲラウンドゴルフクラブ」に地域のかたを指導者としてお招きし、教えていただいています。さらに、学校支援ボランティアとして、多くのかたがたに登録していただき、総合的な学習の時間などで協力・支援を得ながら、学習を深めているところです。

児童数923名という大規模校ですが、いろいろな交流をする中で、一人ひとりの個性をたいせつにするとともに、豊かな人間性を培っていかたと考えています。